

平成19年6月18日

千葉県渋滞・安全見える化委員会について

1. プランの策定状況 資料1

- ・PDCA サイクルに基づき道路行政マネジメントを実施
- ・H18.3 に「移動性阻害箇所見える化プラン」・「事故危険箇所見える化プラン」を策定

2. 対策箇所の状況 資料2

- ・事業箇所の「選択」と「集中」により事業を展開
- ・H19年度より「レッドゾーン」箇所での事業も展開

3. 新たな対策箇所の考え方 資料3

- ・対策実施箇所ごとに効果の把握と対策の検証
- ・見える化プランを新たなデータの充実により、これまでの取り組に反映させる時期
- ・新見える化プランの策定

千葉県渋滞・安全見える化委員会

1. プランの策定状況

(1) PDCAサイクルについて	1
(2) 見える化プランの策定	2

平成19年6月18日

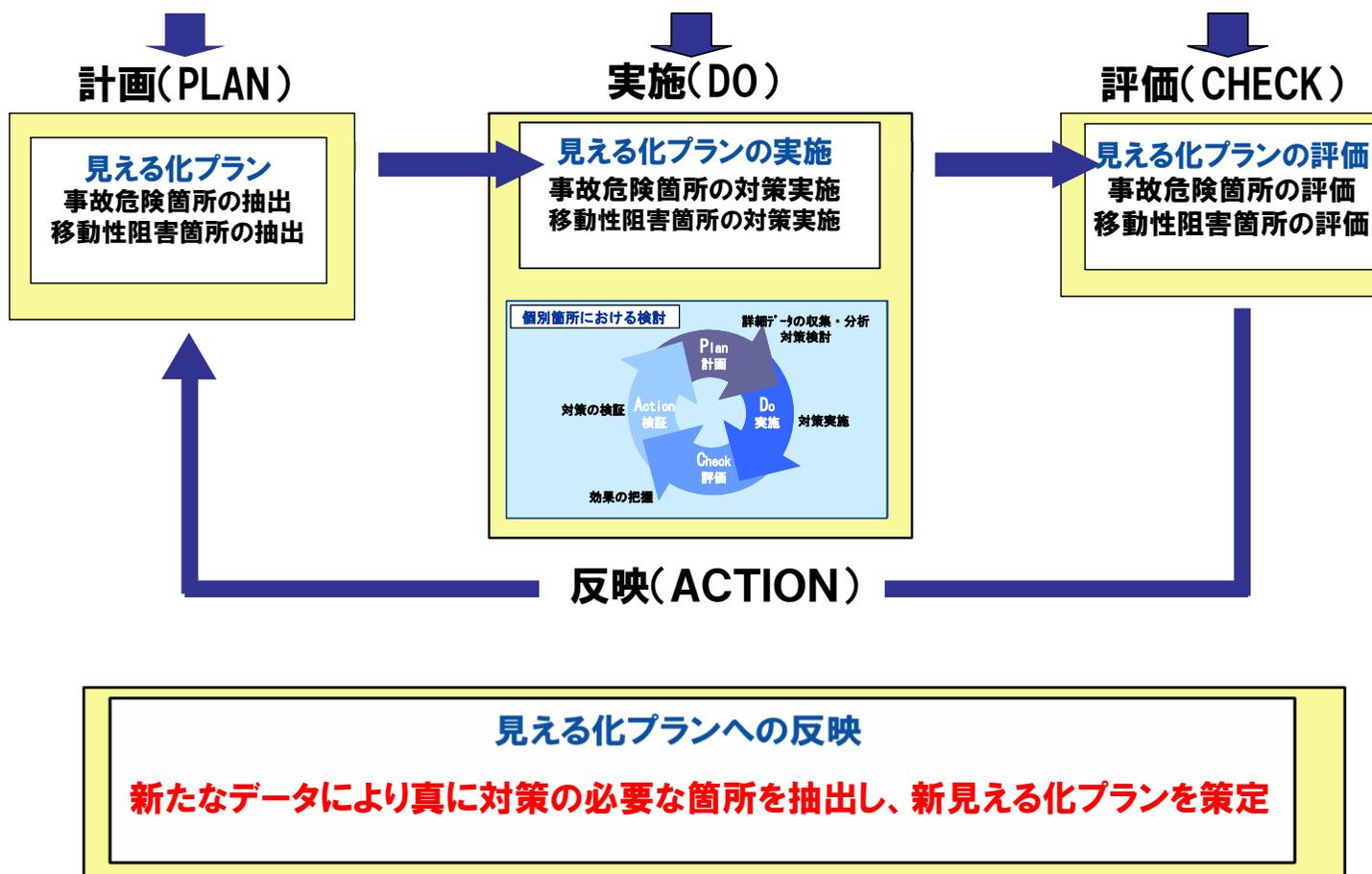
(1) PDCAサイクルについて



ムダな道路を整備しているという批判の中、**納税者の理解を得ながら、真に必要な箇所を整備**するため、優先順位の高い箇所を「見える」ようにする取り組み



見える化とは、課題を「見える」ようにし、**最適なやり方で重点的に解決**すること。課題のデータやそれに基づいた解決策とその結果を、利用者、納税者の皆さんに「見える化」し、効率的な道路行政を進める計画

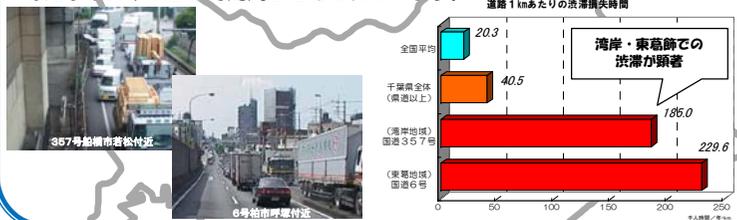


(2) 見える化プランの策定

移動性阻害箇所見える化プラン

渋滞

千葉県は渋滞損失時間は全国ワースト7位、全国平均の約2倍です。
千葉県内の渋滞の約7割が湾岸・東葛飾付近の都市部に集中しており年間一人あたり車の中に2.6時間閉じこめられています。



走りにくさ

大型車のすれ違いが困難な狭い道路や、歩道の無い道路があり快適性が損なわれています。
大雨など自然災害に起因する通行止めが発生しています。



- 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

千葉県移動性向上プロジェクト委員会

事故危険箇所見える化プラン

- 千葉県内の交通事故死者数は、全国ワースト3位！
※平成17年、交通事故死者数は305人
- また、1日に
約100件の死傷事故発生、うち0.85人が死亡

あなたが事故に遭う確率は、

- 千葉県内で、生涯で死傷事故にあう確率は、約40%
- 年間の死傷事故にあう割合は、63世帯に1件

- 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

千葉県安全性向上プロジェクト委員会

(2) 見える化プランの策定

渋滞30カ所で事故対策

県内、今年度から取り組み

快適で安全な県内道路づくりに向け、明確な目標と実効性のある対策づくりを図ろうと、国土交通省千葉国道事務所が設置している「安全性向上プロジェクト委員会」委員長、赤羽弘和・千葉工大教授（は三日までに三回目の会合を開き、パブリックコメントで示した

快適で安全な県内道路づくりに向け、明確な目標と実効性のある対策づくりを図ろうと、国土交通省千葉国道事務所が設置している「安全性向上プロジェクト委員会」委員長、赤羽弘和・千葉工大教授（は三日までに三回目の会合を開き、パブリックコメントで示した

交通事故の撲滅を図る危険箇所三十か所について、事務局が提示した主要な事故原因と対策を了承した。

事故原因のうち、二〇〇四年に県内事故多発ワースト一位となった国道一四号の（仮称）幕張町四丁自交差点について、夜間の横断歩道付近が暗い。横断歩道の位置などが原因」と分析。横断歩道の後の下げや植栽整理などの対策を示した。対策実施については、道路管理者である国、県、千葉市がそれぞれ〇六、〇七年度に可能な箇所から取り組む方針。同委員会では対策後の事後調査も行い、検証する。

一方、「移動性向上プロジェクト委員会」では、渋滞による時間的・経済的損失などが大きいとして、パブリックコメントで示した二十一か所を正式に対策実施箇所として選定。今年度中に具体的な対策を検討する。

また、国道二九六号・新木戸交差点、実籾街道入り口、県道船橋我孫子線・駿河台交差点など、パブリックコメントで指摘された二十一か所以外の渋滞箇所についても実態調査を行うことになった。

H18.4.4 千葉日報

快適で安全な県内道路づくりに向け、明確な目標と実効性のある対策づくりを図ろうと、国土交通省千葉国道事務所が設置している「移動性向上」および「安全性向上」プロジェクト委員会（委員長、赤羽弘和・千葉工大教授）は二十二日までに、対策実施の候補箇所を選定、パブリックコメントの募集を始めた。

パブリックコメント募集

快適な県内道路づくり

対策実施候補箇所を選定

「移動性向上」委員会 柏IC〜大島田間や、同域などが選ばれた。が選定したのは、渋滞に三五七号市市区間、同 交通事故の撲滅を図るよる時間的・経済的損失 五一号並木寺合間、県「安全性向上」委員会が

などが大きい二十一か 道市川松戸線など。 も、県内九十六カ所の危険所。慢性的な交通渋滞が また、走りにくさは 危険所から三十カ所に対

発生している国道一六号 国道二二六号九十九里地 策候補地を絞り込んだ。

千葉国道事務所

同事務所では、二月十九日までパブリックコメントを実施。寄せられた意見を基に、「移動性向上」では、今年度内に「安全性向上」には対策箇所と対策を選定、公表していく。

選定された移動性阻害および交通事故対策箇所と意見応募は、同事務所のホームページで (<http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>)

H17.1.23 千葉日報